

インフォメーション

すべてのお申し込み・お問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター  
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp  
メールでお申し込みの際は、件名を各イベントタイトルとして、氏名・年代・住所・電話番号をお知らせください。

★ 活動力強化講座 「社会を変えるアクションプラン・スクール」 全4回連続

組織力・事業立案力を身につけ、戦略的な事業経営を実践するための学びの場(スクール)です。オープンセミナーを含め全4回のプログラムを通じて、それぞれの組織の課題を把握し、解決へ向けたアクションプランを検討していきます。



対象：社会課題の解決を目的としている組織の代表者・事務局長など事業戦略、資金調達を担う立場の方とスタッフ。原則スクール全ての日程に参加いただけます。

※オープンセミナー受講の後で提出いただくエントリーシートをもとに、第2回以降の参加の可否をご案内させていただきます。

※第1回受講後に継続が難しいと判断した場合第2回以降の取り止めが可能です。

内容：支援者増加・受益者増加のための解決策を検討するスクールを連続開催します。第1回はオープンセミナーとして実施、第2回目以降は課題解決のためのアクションプランを検討します。第2回以降の参加はオープンセミナー参加が条件となります。アクション

プラン検討後も、当センターが伴走型相談でサポートいたします。  
定員：10団体(1団体2~4名での参加を基本とします)  
参加費：10,000円(1団体あたり) 9月8日にお支払いいただきます。  
会場：仙台市市民活動サポートセンター 地下 市民活動シアター

講師 長浜洋二さん  
株式会社PubliCo代表取締役CEO  
一般財団かわさき市民きん評議員/公益社団法人シャンティ国際ボランティア会戦略アドバイザー/NPO法人CRファクトリー コミュニティ・マネジメント・ラボフェロー/著書に「NPOのためのマーケティング講座」。

サポセンスタッフから

18人の市民ライター誕生！市民活動の現場へ突撃取材

市民ライター講座の一環として、7月1日(金)、2日(土)、3日(日)の3日間、受講者が市民活動団体の現場に出かけ取材活動を行いました。取材先は、NPO法人おりの家、過労死東北希望の会、仙台いのちの電話すみれの会、日本駆け込み寺仙台支部、ぶんぶんカフェ、@plus(アプラス)の6団体。取材のテーマは、「市民活動のやりがい」です。各々メモを片手に、慣れない取材に挑みました。全身全霊を込めて執筆した記事の中から6本が、河北新報社の協力を得て7月27日、8月17日付の夕刊に掲載。市民ライターとしての一歩を踏み出した18人。今後の活躍に注目です。(松村) 全取材記事は、河北オンラインコミュニティ「マチノワプレス」に掲載中！  
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/writer>



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日	8月10日(水)・24日(水)
開館時間	月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日	毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042  
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分  
[HP] <http://www.sapo-sen.jp> [Blog] <http://blog.canpan.info/fukku/> [Twitter] @sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターが仙台の市民団体を取材しに行きます！  
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/writer>

情報ボランティア@仙台の学生記者がワクワクビトを取材しています！  
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16>

- ▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
- ▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス  
いただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター  
発行日 2016年8月1日  
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター  
デザイン PEACE Inc.  
編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 葛西 淳子 松村 翔子 黒川 夕紀  
発行部数 3000部  
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

# ぱれっと 8

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2016 No.204

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の  
ワクワク  
ビト

仙台三越 babyGap  
いのくち りょうた  
店長 猪口 良太 さん (35)

会社の後押しを受けて、  
地域に貢献

普段はベビー服店の店長。ある時は街美化団体のメンバー。2つの顔を持つことができるのは、勤務する米アパレル大手「Gap(ギャップ)」が従業員の社会貢献活動を奨励していることにあります。Gapを展開するGapInc.は1969年の創業以来、「洋服を売ることをしよう」を合言葉にしてきました。猪口さんは東日本大震災を機に「自分にもできることはないか」と一念発起。会社の後押しを受けて2013年夏、街美化に取り組むNPO法人グリーンバードに加わりました。

参加時間に応じて、会社はボランティア団体へ助成金を贈ることができるなど、従業員のアクションがより良い形で地域に還元される制度を備えています。「働きながら地域貢献ができる。会社の姿勢は誇りです」と猪口さん。結果として、従業員の仕事へのモチベーションが高まるなど、企業にも社員にも、地域にも利点がある「三方よし」の取り組み。社員の自発的な社会参加をサポートする企業文化が、仙台にも根付きつつあります。

取材・文 三浦 侑紀(東北大学3年)  
高橋 直道(東北大学3年)



特集

ラジオを通して広がるネットワーク

若林区民がつくる

「ラジオはいらいん若林」

ギャップジャパン株式会社

HP <http://www.gapjp.com>

従業員がワークスタイルやライフスタイルに合わせて楽しく活動できる様々な制度を用意。

NPO法人 green bird 仙台チーム <http://www.greenbird.jp/team/sendai/>  
月1、2回、仙台市中心部のアーケード街でゴミ拾いをしています。日曜午前の昼と、平日18時以降の夜の2部制で、活動時間は60~90分。夜の部リーダーである猪口さんは「勤務時間などに合わせて参加できます」とPRします。詳細はホームページで。

# ラジオを通して広がるネットワーク 若林区民がつくる「ラジオはいらいん若林」

若林区は、歴史的な町並みや伝統ある商店街が残る地域、流通・工業地帯である卸町・六丁の目地域、農業が盛んな田園・海浜地域とさまざまな側面をもっている地区です。東日本大震災の際には、東部沿岸部は津波で甚大な被害を受けましたが、2015年に地下鉄東西線が開業し、震災を乗り越え復興に向けてのまちづくりが進んでいます。その時々々の若林区の姿や魅力を発信しようと、市民・行政・企業が協力して取り組むラジオ番組づくりを紹介します。

若林区民の生の声や  
情報を届けたい



若林区まちづくり協議会 ラジオ部門

総括プロデューサー 制作スタッフ 制作スタッフ  
やむ けんじ 米倉正子 菅原まゆみさん

市民を巻き込んだ  
ラジオ番組を作りたい



株式会社  
仙台シテイエフエム ラジオ3

番組担当スタッフ パーソナリティー  
あおき ともこ 相澤美紀さん

活気ある  
若林区にしたい



仙台市若林区役所 まちづくり推進課  
(若林区まちづくり協議会事務局)

地域活動係係長 地域活動係主任  
ちば けいこ たかほしあきら  
千葉恵子さん 高橋啓さん



ラジオを通して、  
住民が住民を  
応援するまちへ

若林区民の自主制作による情報番組「ラジオはいらいん若林」



取材・収録



番組をCD化



番組を編集するスタジオ

## 地域コミュニティの活性化を目指して

「ラジオはいらいん若林」は、若林区の魅力を発信するラジオ番組です。区民ふるさとまつり、新寺こみち市や合唱のつどいなどの若林区ならではの催し、区内で活躍する町内会の人、地下鉄東西線開業イベントの様子などを取材して番組にしています。放送は毎月2回土曜午前10時から、コミュニティFMラジオ3内で聞くことができます。

番組の制作は、若林区まちづくり協議会ラジオ部門の制作スタッフ、若林区にスタジオを持つラジオ3、若林区まちづくり協議会事務局を担う若林区まちづくり推進課(以下、まち課)の3者がそれぞれの役割を分担しながら行っています。

## 地元でしか聞けない区民の声をラジオに

この活動は、2008年に仙台市が地域コミュニティの活性化を目指し策定した「仙台市コミュニティビジョン」にもとづき活動が始まり、今年で9年目になります。番組の制作は、全体会議で年間の方針やテーマを話し合うことから始まります。集めた情報をもとに、現場で取材収録を行うのは、制作スタッフ8名。「地元住民同士だから、いろんな話を気軽にしてくれる」と制作スタッフの米倉正子さん。おなじく菅原

まゆみさんも、「現地に行くと、思いがけない話が聞けることもある」と言います。丹念な取材にもとづいた番組には、区を身近に感じられる地元の話題があふれています。「地元目線で暮らしをみつめ、人的ネットワークを駆使できるのが制作スタッフの強み」と、当初から活動する総括プロデューサーの矢尾研二さんは話します。

収録と編集をサポートしているのは、ラジオ3です。1996年に宮城県で初めて開局されたコミュニティFMで、「番組の制作に多くの市民が参加していることが特徴です」と番組担当スタッフの青木朋子さんは話します。パーソナリティーを務め、制作スタッフの取材にも同行する相澤美紀さんは、「一緒に番組を制作していると、若林区を好きな気持ちになってきます」と、制作スタッフの丁寧な取材を受けて、編集作業にも力が入るといいます。

「制作スタッフの自主性を大切にしています」とまち課の千葉恵子さん。まち課は、会議の開催や、必要な物品の手配など、縁の下の力持ちとしての役割を果たしています。それぞれの強みを活かして制作された番組の放送は、150回を超えました。今までの放送はCD化され、若林図書館で貸し出されています。まち課の高橋啓さんは、「若林区を知るツールとして、皆さんに活用してほしい」と話します。

### ■連絡先

若林区まちづくり協議会事務局(若林区役所 まちづくり推進課内)  
〒984-8601 仙台市若林区保春院前丁3-1  
TEL 022-282-1111(代) 内線6136 FAX 022-282-1152  
HP [http://www.city.sendai.jp/wakabayashi/c/machikyou\\_radio.html](http://www.city.sendai.jp/wakabayashi/c/machikyou_radio.html)

## ラジオ発信の積み重ねが、未来の財産に

「地域の情報を発信するだけが活動の目的ではない。区民の声をラジオに残すことが、若林区の貴重な資産になるんです」と、矢尾さんは話します。過去の放送は、その時の若林区での出来事だけでなく、時代の変化や区民の思いまで伝わる生の資料になります。ラジオを通しての情報発信は、今を生きる地元の活動者へのエールであり、若林区の今を未来に残す活動なのです。(取材・文 黒川夕紀)

●ラジオはいらいん若林 放送局：ラジオ3(FM76.2MHz)  
放送日：7月～3月までの第1・第3土曜日 午前10時～10時半  
再放送：毎月第2・第4土曜日 午前10時～10時半  
※PC、スマートフォンでも聴取可能

### ここチェック

## 太白区「みんなの街の放送局」 地域に密着した番組づくり

エフエムたいはくは、宮城県で7番目のコミュニティFM放送局として、2007年に開局しました。可聴エリアは仙台市太白区を中心とした近隣市町村。開局5周年を迎えた2012年から、地域の方々が気軽に集まり交流できるように、1階ラウンジの改修プロジェクトが進行中。ラジオ放送に留まらずミニイベントや作品展を開催したり、スタッフお薦めの本を貸出する「789文庫」を設置したりと、住民が気軽に立ち寄れる放送局を目指しています。

■エフエムたいはく (FM78.9MHz) 〒982-0011 仙台市太白区長町3-9-10  
TEL 022-304-5121 FAX 022-304-5127 Mail 789@fm-t.net

### お役立ち本

「ありのままの自分」で働ける環境を目指して 職場のLGBT読本  
著者：柳沢正和・村木真紀・後藤純一 / 出版社：実務教育出版

LGBTとはゲイやレズビアン、トランスジェンダー(性同一性障害)など性的少数者を表す総称です。性的少数者は、13～20人に1人の割合で存在しますが、差別や偏見を恐れ、職場では自分がLGBTであることを隠して働く人が多いのが現状です。LGBTが働きやすい職場について考えることは、子育て中の人、障害のある人をはじめ、「誰もがありのままの自分」で働ける環境を考えることにもつながります。



### コトナツメ

工芸品と人の出会いをお手伝い！「杜の都のクラフトフェア2016」  
9月30日(金)午前11時～午後7時/10月1日(土)午前10時～午後5時

全国から独創的な工芸品と作り手が集まります。サンモール一番町商店街を会場に、作る人と使う人が「モノ」を介して思いを巡らせます。仙台の街で人と人、物と人の出会いをお手伝いする方を募集します。  
内容：広報誌制作のお手伝いおよび市内各所へ広報誌・DM配布、当日の運営など  
応募締め切り：8月15日(月・祝)  
問い合わせ：仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員会 Mail: [morimiya.cf@gmail.com](mailto:morimiya.cf@gmail.com)



## 人と犬との健全な関係を築くには

市民ライター 泉久恵

仙台市動物管理センター(アニパル仙台)で開催する成犬譲渡会を、ボランティアとして支えているのがNPO法人エーキューブです。譲渡会は、何らかの理由で収容された成犬たちと新しい飼い主さんとの出会いの場です。

「犬格を理解し、一生面倒をみてくれる飼い主さんに託したい」。エーキューブの理事である後藤美佐さんは言います。シッターと呼ばれるエーキューブの会員が、犬たちの譲渡が決まるまで、散歩やシャンプーなど日常のケアをしています。譲渡会当日は、犬の性格や特定の癖を納得した上で譲渡が決まるように、犬を迎えるにあたっての準備や心構えとともに、基本的な散歩マナーなど飼い主として大切なことを伝えます。

エーキューブの活動は、アニパル仙台で開催される譲渡会のお手伝いのほか、高齢者や子どもたちへの動物を介在とした支援活動(Animal Assisted Activity)、ふれあい活動、災害時動物救援など多岐に渡ります。



▲成犬譲渡会で犬のお世話をしている会員たち。活動を支援してくれる会員を募集しています。

「仙台市では、2012年から犬の殺処分はしていない」。私にとって、ほっと胸をなでる言葉でした。ペットショップとは違う犬との出会い。譲渡会という、もう一つの選択肢によって救われる命があることを知りました。

### ■連絡先

NPO法人エーキューブ  
〒983-0034 仙台市宮城野区扇町6-3-3  
TEL 080-5224-6758(平日9:00～17:00)  
HP <http://www.a-cube-sendai.com/>  
E-mail [info@a-cube-sendai.com](mailto:info@a-cube-sendai.com)